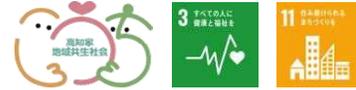


目指す姿

子ども達がより家庭に近い環境で安心して生活を送るとともに、施設等退所後も自立に向けた支援が受けられることで、夢と希望を持って成長できる環境が整っている



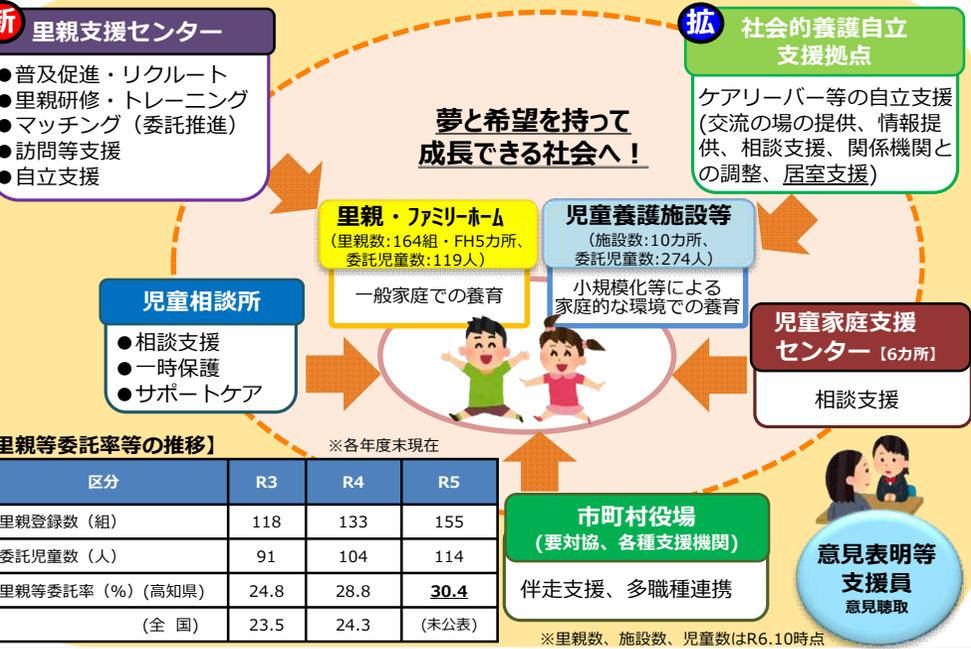
KPI	基準値	現状値	目標値(R9)
【第2階層】里親等委託率	30.4% (R5)	31.7%(R6.10)	45.0%
【第1階層】里親等登録数	155組 (R5)	164組(R6.10)	266組
【第1階層】地域小規模児童養護施設又は分園型小規模グループの数	9グループ (R5)	9グループ(R6.10)	14グループ

現状と課題

- 里親等委託の推進においては、登録里親が少ない、登録後も子どもを未委託の里親が多いといった課題がある。また、子どもが抱える問題の複雑化に伴い、養育に不安や負担を抱える里親がいる
- サポートケアにおいて、「言いたいことが言えていない」と感じる子どもが一定数存在
- 社会的養育経験者（ケアリーバー）の自立に向けて、様々なニーズに応じた支援が必要

社会的養育のイメージ

令和7年度の取り組み



(1) 里親養育支援体制の充実

- 新** 里親支援センター設置による一貫した里親養育支援体制の構築
- 拡** 里親の育児技術向上に向けた研修の実施

(2) こどもの権利擁護体制の充実

- 拡** 第三者による子どもへの意見聴取や関係機関へのこどもの意見の代弁等を行う意見表明等支援事業の実施
- 拡** 「こどもの権利ノート」を子どもにとってよりわかりやすい内容に見直し

(3) 家庭的養育環境整備の推進

- 施設職員の専門性向上に向けた研修等の実施
- 施設の小規模化・多機能化等の促進

(4) ケアリーバーに対する自立支援体制の強化

- 拡** 社会的養護自立支援拠点における居室支援の実施、市町村に向けた広報啓発の強化
- 児童自立生活援助事業の実施